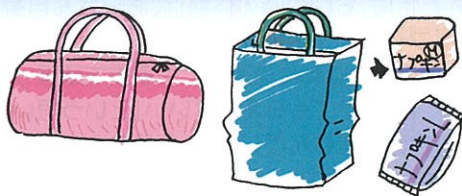


お産の準備

良いお産をするには、心と体の準備が大切なのももちろんですが、入院に必要なお母さんの物品や、赤ちゃんに必要な物品を揃えることも大切です。遅くても妊娠34週までには準備をしておきましょう。

◎お母さんの準備(入院に必要な物品)

荷物はバック1～2個にまとめましょう。お産や産後に使用するナプキンや赤ちゃんのお尻ふき用カットメンは、入院時にお渡しします。足りなくなったら売店で購入もできます。



分娩室で使うものなのでひとまとめにしておきます。



産褥ショーツ

大きめのもの2～3枚



フェイスタオル 1枚

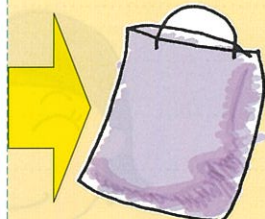
産後に体を拭いて着替えをする際に使うので、血液などが付着してもよいもの。



前あき寝衣
(膝丈けの長さ)

お産の際に点滴をすることが多いため、被るタイプのもを着るのが難しく、産後もナプキン交換をスタッフがお手伝いしたり、出血が多いとおしこの管が入り、ズボンも履けないため。

※帝王切開の場合は、上記+フェイスタオル2枚も必要になります。



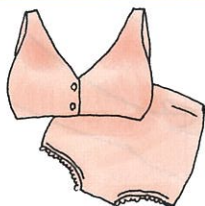
バッグ



パジャマ 2～3組

(前あきでなくても良い)

前開きでなくてもよいが授乳しやすいものを、入院期間5～7日間に必要な枚数。



ブラジャー・ショーツ

入院中は大きめのナプキンを付けるため、普段よりもゆったりしたサイズのもの。ブラジャーも授乳がしやすく締め付けないゆったりしたサイズのもの。



ガーゼハンカチ
5枚くらい
(オフロ用)

赤ちゃんは吐きやすいためお口を拭いたり、沐浴の際に使用。1度洗ってのりを落とし、名前を記入。



バスタオル(お母さんのシャワー浴用)

経産分娩は翌日から、帝王切開は3日目からシャワーに入れます。



フェイスタオル
5枚くらい

洗面や手洗い後に使用。



靴下

陣痛中に足を冷やさないため。



スリッパ

滑りにくいもの。



イヤホン

陣痛室や産後の大部屋(3人部屋)でテレビを見る際に使用。



洗面用具

シャンプーや洗顔、歯ブラシ等は病院にないため、ご自身で持参。



ティッシュペーパー



時計

スプーン、はし



ストロー

ペットボトル用ストローキャップ…お産中や帝王切開後に横になったまま飲める。

母子健康手帳、診察券



保険証

入院時にコピーをとります。



入院手続き書類、帝王切開術の同意書

薬・お薬手帳

内服や吸入、点眼、軟膏など使用している薬がある場合。



筆記用具

産後のオリエンテーションや哺乳表を記載するため。



小袋(貴重品入れ)

授乳サロンで授乳する際に貴重品を持ち歩くため。



すこやか

洗濯洗剤

病院の洗濯機を使用される場合。

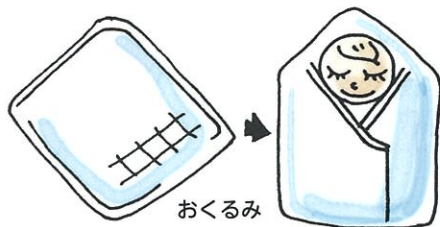
※洗濯機とドライヤーは病棟にあり、自由にお使いいただけます。
※コンタクトレンズを使用の方はメガネをご持参ください。

◎赤ちゃんの準備(退院時に着て帰るもの)

肌着



ベビーウェア



おくるみ

※入院中の赤ちゃんに使う肌着やタオル、オムツは病院にあります。

※他にも、手ぶらで入院できるセットもご用意しております。

〈あると便利なもの〉

- ・カーディガン等羽織るもの…病棟内は1年中半袖で過ごせるくらいの温度ですが、空調により寒く感じる方もいるため。
- ・ペットボトル用ストローキャップ…お産中や帝王切開後に横になったまま飲める。
- ・飲み物…病院の食事にはお茶等の飲み物はつきません。自動販売機や売店でのご購入はできます。